

市民から今も中核市になったらどうなるのという声が良く聞かれます。市は市報やホームページなどさまざまな媒体で広報をしていますが、中核市移行に対する期待の聲が高まらず、関心も広がらないのは、一方的な情報提供の広報が主流で、市民と直接対話する機会も対象もごく限られたもので、とても丁寧な説明にはなっておらず、「理解は進んでいる」という客観的な評価を示すこともないまま、中核市移行をすすめているからです。

国が都市制度を変更して中核市が作られたにせよ、1市8町村の平成合併と特例市の目的・結果の総括が全くされず、広報する市側と市民との間に共通理解と市民間の情報共有もないまま、市民不在の市政運営がおこなわれています。

この点で、平成の合併に関する評価は、総務省も「行政側の評価と住民側の評価は必ずしも一致していない」、「住民の反応としては相対的には否定的な評価がされている」と認めているほどです。

現在の総合計画作成前に実施した鳥取市民アンケート調査報告書でも、合併の影響について、旧鳥取市の鳥取地域の市民は、「特に影響がない」「わからない」が多くを占め、旧町村の地域の市民は、「公共料金の負担増加やサービス低下」、「中山間地域の整備の遅れ」が多く占めています。そして、名実ともに山陰最大の特例市、日本海地域の中核都市に生まれ変わるとされた特例市移行による地域のイメージアップについて、市民の評価は極めて低く全体で3.5%しかありませんでした。これは、編入合併の弊害が住民・市民の理解と合意がなく進められたこをはつきりと現しています。

市長が提案説明で中核市になって、「これまで以上に実情に合った、きめ細かであり質の高い市民サービスが可能となる」と言われていますが、編入合併後の問題・弊害を総括し、この二分化した市民の声と地域の実態に対して、住民サービスと生活・地域づくりの基盤強化、そしてそれぞれの地域の活性化に向け、共通の対策と独自の処方箋を出すことが必要であり、そのことが本市の地域再生と発展の基盤になるものです。

もう一つは、市長が中核市移行を「100年先にも飛躍・発展し続ける都市を目指すとりくみである」と強調している点です。この議会の提案説明でも「中核市移行により、本市が基礎的自治体としての機能を強化することで、今後、地方分権時代をリードする都市となり、将来にわたる本市の飛躍・発展を確かなものとする」と述べました。

市長はさらに、「中核移行が市民の皆様の幸せにつながると固く信じる」といわれますが、100年先に一体、いまの市民がこの中核市移行を幸せにつながったと検証できるでしょうか。この議場いる誰がその責任を取れるといえるでしょうか。

「100年先を見据えた」と大上段に耳障りよく言われ、地方分権の時代をリード

すると強調されるなら、それこそ市民の情報共有と合意形成は不可欠です。市長や議会が市民の合意形成なしに勝手すすめるものではなく、住民の住民による住民の手による手続きがされるべきであります。

いま大切なことは、地方自治の理念をまちに地域に根付かせていくうえでも、市民とのコミュニケーション不全があったといわれる市庁舎問題の教訓を真正面から汲み取るとともに、市民生活に影響する政策・事業は市民に必要な情報を公開し、直接説明し情報を共有できる仕組みに改善し、自分の政治信条や行政運営に対して異なる意見をもつ市民とも向き合い対話ができる市民説明会をおこない、市民との合意形成に意を尽くすことです。それが、鳥取市の将来のまちづくりと地域づくりの礎となり、鳥取市の発展の活力になるものです。

最後に、1市5町の連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結と定住自立圏の形成に関する協定の廃止の議案について一言述べておきます。

連携協約の締結は、前述のように中核市移行が平成の合併と特例市に対する市民の評価が低いことに加え、2014年総選挙の自民党の政権公約において、道州制をめざしながら、導入までの間は国、都道府県、市町村の役割分担の整理と、基礎的自治体の都市機能の集積・強化をすすめるものであると明確にしています。まさに道州制への迂回路、代替措置としての中核市移行であります。

中核市移行による連携中枢都市圏の形成は、さらなる民間手法の導入による財政効率と行政サービスの市場化をすすめ、自治体本来の責任を弱め、各行政分野の広域化により小さな住民の声はますます届かなくなり、住民サービスの低下につながる危険があります。

また、国の財政措置で中核市がより中心的役割を担うことによって、定住自立圏と比べ、自治体間の対等・平等の立場と自治体自身の自主性・自律性を弱め、むしろ従属的な関係をつくりかねないもので、自治の本来の趣旨を歪めることが危惧されます。

以上、私はひきつづき地方自治の精神を生かした市政と、小さな市民の声もしっかり受け止め多くの市民とともに共有し反映する行政運営を求め、これで中核市移行と連携協約の締結等の関係議案の反対討論とし、議員各位の賛同を心からお願いし、討論を終わります。